

ふみこの

チャレンジ通信

発行 山下ふみこ後援会『ふみことステキな仲間たち』

〒410-0022 静岡県沼津市大岡1556-2 TEL.055-962-2509/FAX.055-951-4855

No.14



一般質問

三つ目ガードの道路冠水は鉄道高架では解決しない!!

質問： 抜本的な対策は**高架化ではこの猪川の問題は解決しないという県の調査**を、市長はどのようにとらえ、今後の対応をどのように考えるのか。

答弁： 抜本的な対策としては、鉄道高架事業により地形的な問題を解消していくことが必要。

一般質問のキッカケ

毎年、豪雨の度に三つ目ガードの通行止めが繰り返されている状況に、何とか対策がないものかと調査を進め、**そこに意外な事実があった**ことを知る。

経緯

2005年1月～3月 -----

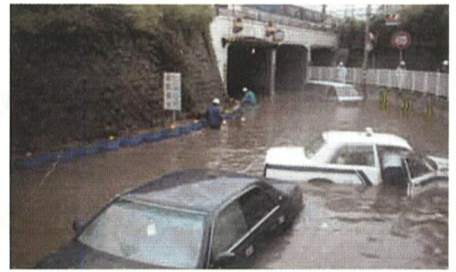
静岡県は、三つ目ガード冠水被害の解消を目的とした基本設計業務を民間委託(700ページにも及ぶ報告書は工事費も計算されていた!)

2006年11月 -----

沼津市は鉄道高架事業の事業認可を取得
(以降、報告書は日の目を見ないことに…)

2012年10月 -----

県と三つ目ガードの冠水対策について話し合うが、その時には**報告書の存在は知らされなかった**



2013年1月 -----

その後報告書の所在を知り、県へ情報開示請求をして全部開示となる

報告書によると…

鉄道高架をした場合、道路の高さが高くなり、行き場を失った流量は、低い地域に流下し、被害は住宅密集地である**猪川の下流部周辺に及ぶ可能性**がある

【対策】 ① 国道下に埋設する貯留管やバイパス水路の設置 ② 調整池計画

まとめ

2005年に工事費の概算まで出された報告書は、翌年11月・沼津市は鉄道高架事業認可を取得以降、日の目を見ることもなく、今日まで高架をしなければ冠水問題は解決しないとされてきた。市民生活に大きくかわかる対策を8年間もうやむやにし、また、これ以上高架事業が完成するまで待つしかないという当局答弁の背景にあるのは一体何だろうか。

このまちが抱える閉塞感は、住民生活に直結した問題さえ議論できず、真実を語れない状況こそが問題ではないだろうか。

■ 平成26年度予算編成方針について

沼津市は予算の過程がブラックボックスの中で行われていて、結果だけを議会が審議する仕組みになっている。未だにこの事業にこの予算額がついたのは何故なのか、どのような査定を受けたのかわからない。しかし、全国的にはその過程が公開されるようになってきている。

質問：なぜ沼津市は財政の目標値を出していないのか。
(他市では目標値を公表している)

答弁：具体的な財政指標や借金残高の目標は設定していない。

平成24年度決算では、沼津市の財政調整基金の年度末残高は10.6億円。一般的には標準財政規模の10%以上が適正額と言われているが、沼津市は2.6%(県下の平均は平成23年度末13%)。

毎年、議会でその残高不足を指摘されても、**県下35市町で最低**に甘んじている。これでは緊急の財政出動に対応できず、**市民生活に大きな影響が出る**ことは必須。

質問：財政調整基金の目標額を決めて、自らに目標額を課す姿勢はないのか。

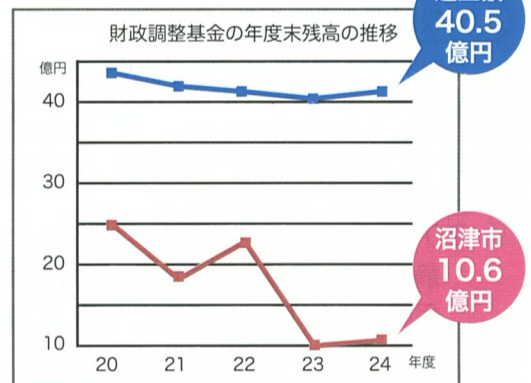
答弁：効率的な努力をして生じた剰余金を積み立てることが基本。

つまり、お金が余れば、積み立てるということ。これではいつまでたっても県下最低のままである。



財政調整基金とは？

収入の調整や災害等に備えるためのお金で、一般家庭の預貯金にあたるもの。



■ 下水道料金の値上げ！

4月1日から下水道料金が39.6%アップ。一般家庭では年間**7,740円の負担増**になる。前回の通信でもお知らせをしたように、この値上げ率では累積赤字(500億円余)は全く改善せず、抜本的な対策にはならない。

今後5年ごとに見直しをするということは、**5年ごとに料金値上げをすることが前提**である。

消費税のアップや年金・介護保険の問題も重なり、日々の暮らしはますます厳しくなる。



全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会の記者会見 2013.12.15

■ (続) 子宮頸がんワクチン それでも打ちますか？

昨年の6月議会において、このワクチンについて警告をしたが、さらに**被害者が増え、接種後、一年経ってから副反応症状が出るケース**もある。

しかし、ワクチンの接種によって引き起こされたという因果関係の証明が難しく、被害者の救済は、ほとんど行われていないのが現状。

昨年末の厚労省の専門部会で症例の分析やワクチンとの因果関係をさらに議論する必要があるとして、勧奨再開の判断を見送る。

全国子宮頸がんワクチン被害者連絡会

(会長) 松藤 美香

(事務局長) 池田 利恵

(連絡先) 042-594-1337

<http://shikyuukeigan.fem.jp/>

一般質問の成果

■ アダプトプログラム制度の導入が決定！



アダプトプログラムとは？

公共の場所に、市民・企業が行政に代わって清掃・美化活動を行い、行政は、市民が安全に責任を持って活動ができるように、傷害保険加入や清掃用具等を支援する仕組み。

昨年6月議会の一般質問において、制度の導入に向けた取り組みを提案し、新年度において制度導入が決まる。

『きっかけ』

香貫山の清掃活動に、昨年から高校生が参加してくれるようになり、安全確保のためには団体の傷害保険加入の必要性を感じる。

全国の自治体には、市民のボランティア活動を支援するために、保険の加入や用具の提供をしていることを知り、市民協働のまちづくりを進めるために提案をする。

活動
報告

総務経済委員会の行政視察

栃木県宇都宮市～群馬県渋川市～新潟県三条市へ2泊3日間の視察(1/13～1/15)



宇都宮市では「自転車のまち」を10年計画で事業展開。既にアジア最高位の自転車ロードレースの開催地でもある。市街地を中心に広がる平坦地は自転車利用に適したまちであり、沼津市と都市構造等が似ている。

一緒に
やりませんか？

■ 毎年恒例チャリティー餅つき

年末29日、駅北口のBiViぬまづで恒例の餅つきをします。子どもたちと一緒につき、振舞うお餅は最高に美味しいです。



■ 紙芝居屋さん



毎月1回の紙芝居屋さん。園児たちをどうやって惹き付けるか。みんなが集中した時は「やった～！」って思う。充実した楽しいひと時です。

新年の
ご挨拶

「希望に向かって」

新しい年が明けました。

元旦で原発ゼロは108日目です。東日本大震災、福島原発震災から2年10ヶ月。福島第一原発の後始末は一向に進んでいません。地方においては、高齢社会の加速と人口減少、地域経済の疲弊やコミュニティの崩壊は進んでいます。地方議会(議員)に求められる役割はますます大きくなっています。

「あれも、これも」の時代から、「あれか、これか」の時代を生き抜くために、皆様に税金の使い道をより明らかにし、自立する地方自治を目指します。

そして、今年は希望に向かって、一歩ずつでも進んでいけますように！



お知らせ

■ 香貫山ゴミ掃討作戦

どなたでも参加自由、現地集合！
一緒にゴミ拾いしませんか？



【日時】 1月25日(土)・2月15日(土)・3月15日(土)
9:00~10:00

※毎月第3土曜日 9:00~10:00 (雨天中止)

【集合】 五重塔の茶屋前(香陵台)

【持物】 軍手・飲み物・長パンツ・タオル

※傷害保険・ゴミ袋・清掃用具・飲み水はこちらで用意します

■ 「山下ふみこと語ろう」

市政報告会
「議員って何してるの？」

世間から見れば、必要ないと思われる議員。でも結構苦勞している私たち。花も実もある話もあれば、誰も蓋もない話もしようと思います。

【日時】 平成26年2月9日(日)
10:00~11:30

【場所】 日枝神社(お山王さん)

※沼津警察の北側/駐車場あり
沼津市平町7-24 Tel:055-962-1575



皆さんお誘い合わせの上、お気軽にお越しください！

市政相談
受付中

お気軽にお声かけください！

いつでも市政相談、行政相談をお受け致します。

どうぞお気軽にお声かけください。

※事前にお電話を頂けると助かります

山下ふみこ事務所

〒410-0022 沼津市大岡1556-2

■ Tel: 055-962-2509

■ 携帯: 090-7313-6092

■ Email: fumiko@yamashita.fm